



鉄道友の会2022年「ブルーリボン賞」を受賞した新造車両1000形「Le Ciel」



川崎鶴見臨港バスで行われたBRT（バス高速輸送システム）連結バス出発式

KEIKYU BUSINESS REPORT

第102期 連結累計期間報告
2022年4月1日～2023年3月31日
京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

トップメッセージ	02
連結決算ハイライト	04
セグメント情報	05
株主優待制度のご案内	06
株主プレミアムイベントのご案内/会社情報	07
ご案内	08



徒歩5分圏内に生活利便施設が揃うことで人気となった「プライム川崎小島新田」



リニューアルオープンした「もともちユニオンウィング久里浜店」

TOP MESSAGE

京急グループの持続的な発展のため、「移動」と「まち創造」それぞれのプラットフォームが相互に価値を提供し合い、さらなる価値創造につなげてまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第102期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類となり、ようやく世の中に活気が戻ってまいりました。当社グループにおきましても、2022年度決算は、鉄道事業が3年振りに黒字転換するなど、回復基調に転じております。2023年度は現中期経営計画の最終年度となりますが、計画目標の達成に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

当社グループは、快適でスムーズな移動サービスなど、高付加価値化した移動の提供という「移動プラットフォーム」と、その拠点となる駅や周辺地域の魅力を高めて人の流れを創造する「まち創造プラットフォーム」という、2つのプラットフォームが相互に価値を提供し合い、双方の価値向上につながる正のスパイラルの拡大による持続的な発展を目指しております。

本年4月には、「新しい価値共創室」を新設しました。データ活用やエリアマネジメント活動などを通じて、2つのプラットフォームによる価値創造をより効率的に機能させる仕組みづくりを推進し、さらなる「沿線価値の創造」につなげてまいります。

株主の皆様におかれましても、引き続き当社グループへのご支援を賜りますよう、よろしく願い申しあげます。



京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

川俣 幸宏

第102期 連結決算の概要

当期の営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響や物価の上昇などが続いたものの、景気は緩やかに持ち直したことなどにより、2,530億5百万円(前期比4.6%減)、営業利益は108億1千9百万円(前期比208.2%増)、経常利益は122億3千3百万円(前期比141.5%増)となりました。これに、特別利益としてバスの営業所等の売却に伴う固定資産売却益を計上

したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は158億1千7百万円(前期比26.2%増)となりました。

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要政策と位置付けておりますため、当期の年間配当金は、1株あたり11円(中間配当金5円、期末配当金6円)といたしました。

来期の業績予想

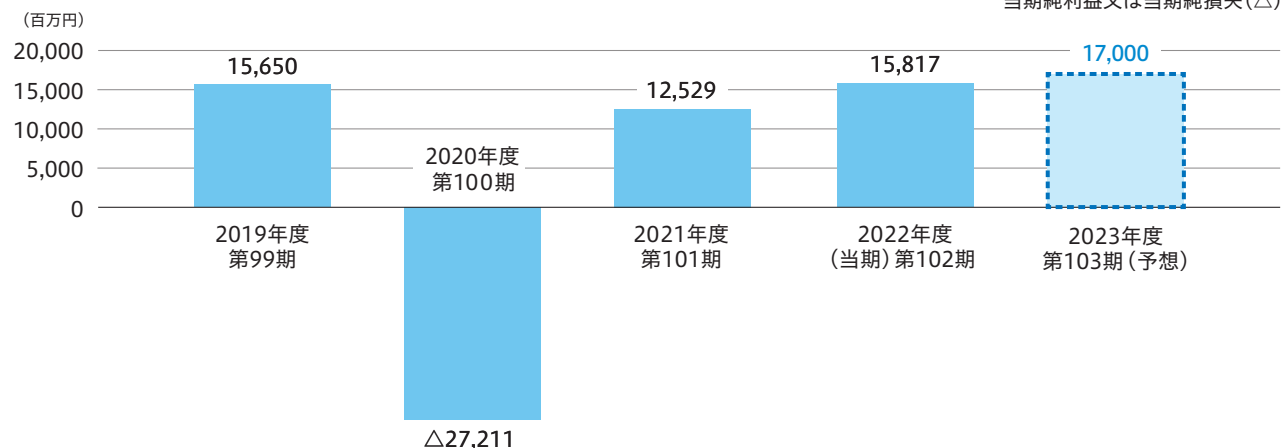
来期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による行動自粛・各種制限等が概ね収束し、アフターコロナにおける定常化した事業環境にあることを想定しております。

ただし、事業によっては、コロナ影響からの回復が遅れることや、社会環境および生活様式の変化により

定常化の水準がコロナ以前とは異なることも想定していることから、営業収益は2,963億円、営業利益は230億円、経常利益は200億円、親会社株主に帰属する当期純利益は170億円を想定しております。

また、来期の年間配当金につきましては、1株あたり12円(中間配当金6円、期末配当金6円)を予定しております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)の推移



連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

	前期末	当期末
資産合計	912,385	935,420
負債合計	655,500	661,968
純資産合計	256,884	273,452

●資産の部

分譲土地建物の増加などにより、前期末と比べ230億3千5百万円増加しました。

●負債の部

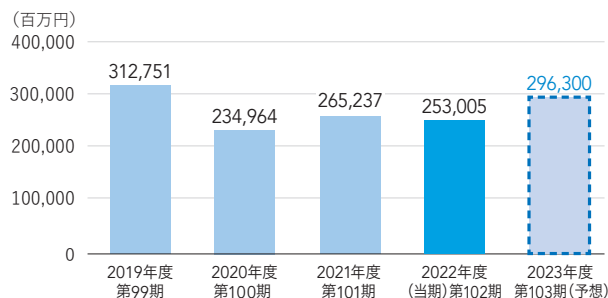
長期前受工事負担金の増加などにより、前期末と比べ64億6千7百万円増加しました。

●純資産の部

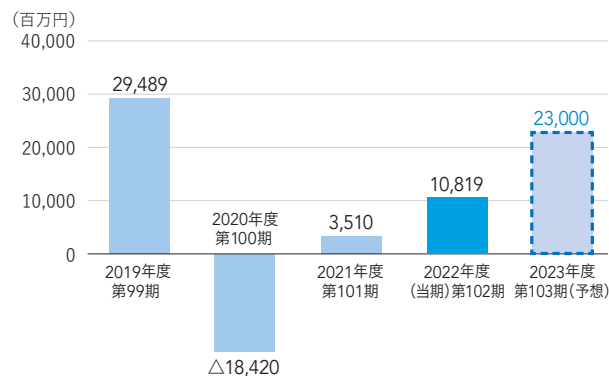
剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、前期末と比べ165億6千7百万円増加しました。

業績等の推移(注)

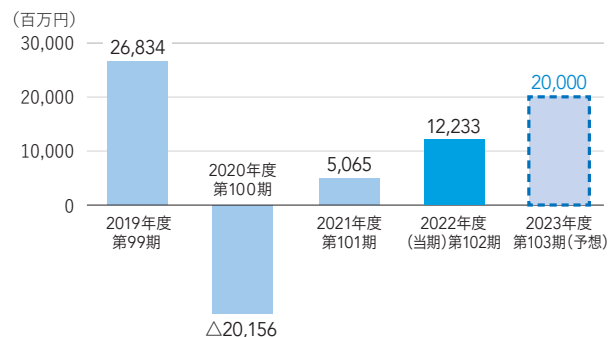
営業収益



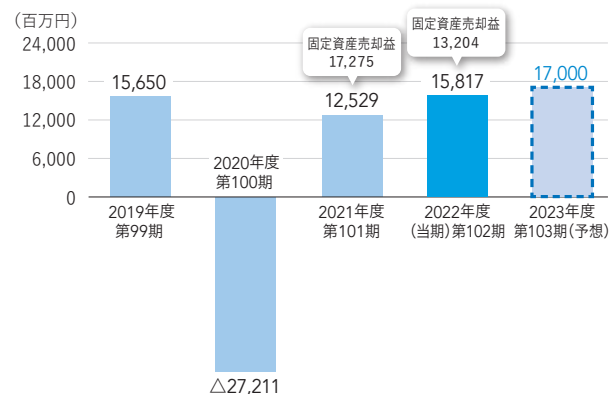
営業利益 又は 営業損失(△)



経常利益 又は 経常損失(△)



親会社株主に帰属する 当期純利益 又は 当期純損失(△)



(注)2020年度(第100期)以前は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載しております。

セグメント情報

交通事業



営業収益

988億円

(前期比14.5%増)

営業損失

△7億円

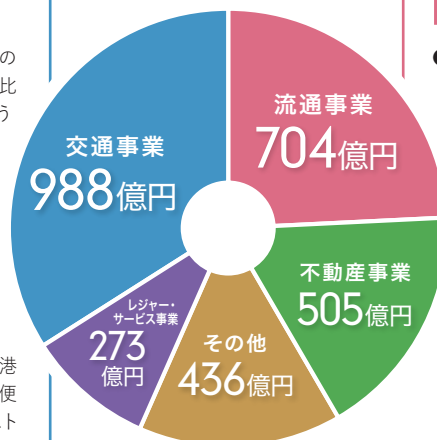
(前期は営業損失99億円)

- 鉄道事業では、緊急事態宣言等による社会活動の制限がなかったことなどにより、輸送人員は前期比で12.3%増となりました。また、全国旅行支援に伴う航空旅客数の回復により、羽田空港駅の輸送人員は、前期比で54.2%増となりました。さらに、当社は、羽田空港アクセスの強化を図るため、国土交通省と共同で整備する羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線の工事に着手しました。なお、安全・安心で快適・便利な輸送サービスを提供し続けていくため、本年10月に鉄道旅客運賃の改定を実施することとしました。
- バス事業では、京急急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、需要の変化に応じた路線の再編や運行便数の見直しなどを実施し、輸送の効率化およびコストの削減を図りました。
- 鉄道事業およびバス事業において、お客さまご利用状況や新たな需要を反映したダイヤ改正を実施し、利便性の向上を図るとともに、沿線のまちづくりと鉄道・バスをはじめとする移動基盤との連携を進めました。

営業収益

2,530億円

(前年同期：2,652億円)



流通事業



営業収益

704億円

(前期比0.9%増)

営業利益

10億円

(前期比37.7%増)

- (株)京急ストアは、「京急ストア桜谷店」を「業務スーパー」に、「京急ストアグロッサリーマーケット伊勢佐木町店」を「もともちユニオン」に業態転換するなど、地域特性に対応した店舗展開を図りました。
- (株)京急百貨店は、施設の活性化および経営の効率化を図るため、大型専門店「GU」を誘致するなど専門店化を進めました。また、「ウイングくり浜」をリニューアルし、顧客の獲得に努めました。

不動産事業



営業収益

505億円

(前期比36.3%減)

営業利益

65億円

(前期比40.0%減)

- 不動産販売業では、当社は、「プライム金沢文庫」等を、当社および京急不動産(株)は、「プライム川崎小島新田」を完売しました。また、当社は、「ブランドタワー芝浦」の販売および引き渡しを行いました。さらに、当社および京急不動産(株)は、新たにマンション建替事業に参入し、「プライム虎ノ門」の販売を開始しました。
- 不動産賃貸業では、投資した不動産ファンドからの配当収入が増加したほか、賃貸オフィスビルや商業施設などで、高稼働率の維持に努めました。
- 品川駅西口地区において、11月に都市計画変更がなされるなど、品川駅周辺開発事業が順調に進捗しました。また、当社は、横浜市旧市庁舎街区において、他社と共同で、複合施設の建設に着手しました。

レジャー・サービス事業



営業収益

273億円

(前期比14.1%増)

営業利益

21億円

(前期比915.6%増)

- ビジネスホテル業では、京急EXホテル・京急EXインは、全国旅行支援などにより、回復基調で推移しました。また、「京急 EXイン 浅草橋駅前」など4館を閉館し、一時的なダウンサイジングを実施した一方で、インバウンドおよび国内レジャー需要の取り込みを強化するため、「京急 EXホテル 札幌」および「京急 EXイン 京急蒲田駅前」を開業し、順調に推移しました。

その他



営業収益

436億円

(前期比4.9%増)

営業利益

20億円

(前期比19.6%増)

- 京急建設(株)および京急電機(株)は、ホームドアをはじめとした鉄道の安全対策工事等を行いました。

- レジャー関連施設業では、京急開発(株)は、「ポートレース平和島」や「BIG FUN平和島」などにおいて、来場者の獲得に努めました。また、当社は、「都市近郊リゾートみうらの創生」の実現に向けて、長年ご愛顧いただいた「観音崎京急ホテル」の営業を終了し、(株)共立メンテナンスが運営する新ホテルへのリニューアル工事を進めました。

株主優待制度のご案内

- 京急グループ施設株主優待割引券のほか、株式数に応じて電車・バス全線きっぷやホテル宿泊券等が選択できる株主優待制度を設けています。

ご所有株式数	基準日	電車・バス全線きっぷ	京急EXホテル・京急EXイン 無料宿泊券(シングル)	電車全線バス	バス全線バス
100株以上 200株未満	9月末	-	-	-	-
	3月末	2枚(注)	-	-	-
200株以上 500株未満	9月末	2枚	-	-	-
	3月末	2枚	-	-	-
500株以上 1,500株未満	9月末	4枚	-	-	-
	3月末	4枚	-	-	-
1,500株以上 2,500株未満	9月末	8枚	-	-	-
	3月末	8枚	-	-	-

(注)毎年3月31日の基準日時点の株主様に限り年1回発行(毎年5月中旬に発送)

いずれか1つ選択

2,500株以上 5,000株未満	9月末	15枚	1枚	-	-
	3月末	15枚	1枚	-	-
5,000株以上 10,000株未満	9月末	30枚	2枚	-	-
	3月末	30枚	2枚	-	-
10,000株以上 15,000株未満	9月末	60枚	4枚	-	-
	3月末	60枚	4枚	-	-

いずれか1つ選択

15,000株以上 22,500株未満	9月末	90枚	6枚	1枚	-
	3月末	90枚	6枚	1枚	-
22,500株以上 30,000株未満	9月末	135枚	6枚	1枚	1枚
	3月末	135枚	6枚	1枚	1枚
30,000株以上	9月末	180枚	6枚	電車・バス共通全線バス 1枚	
	3月末	180枚	6枚	電車・バス共通全線バス 1枚	

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)～羽田空港線のみご利用になれます。)

※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

京急グループ施設株主優待割引券(年2回) 100株以上ご所有のすべての株主様

京急EXホテル・京急EXイン

	100株以上500株未満	半期に2枚
	500株以上	半期に4枚
スタンダードプランから1,000円割引		

京急ストア・もとまちユニオン

	100株以上500株未満	半期に20枚
	500株以上	半期に40枚
50円割引 (1,000円以上(税込)のお買い上げごとに1枚)		

セブン-イレブン

京急ST羽田空港第1ターミナル店 京急ST羽田空港第2ターミナル店
京急ST羽田空港第3ターミナル店 京急ST三崎口店

	100株以上500株未満	半期に1枚
	500株以上	半期に2枚
7カフェ コーヒーL 1杯無料		

さらに3年以上継続の場合	
電車・バス全線きっぷ	電車・バス全線きっぷ
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚
15枚	15枚

単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

(営業時間)平日 9:00～17:00  0120-782-031

当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター

(受付時間) 9:00～17:00 年末年始は休業
※営業時間は変更となる場合がございます。

ハロー・ハロー

03-5789-8686 または 045-225-9696



京急ご案内センター

株主プレミアムイベントのご案内

株主様に、京急グループの事業内容へのご理解を一層深めていただくことを目的として、開催いたします。

貸切列車で引上線・待避線を巡り、京急線を知りつくそう



開催日	2023年8月26日(土)
開催時間	9時45分～13時00分(予定)
募集人員	60名様 (株主様1名様につき同伴者1名まで可)
応募締切	2023年7月10日(月)17時00分まで
当選者へのご案内	2023年7月14日(金)

[見学内容]

品川駅、京急川崎駅、子安駅、神奈川新町駅の4駅にて、普段入ることのできない引上線・待避線を貸切列車にて巡ります。また、幻のスポットとして人気のある業務用の駅“新品川駅”では降りていただき、ホーム上およびホームからの景色をお楽しみいただけます。

応募資格 2023年3月31日現在 株主の方

- 応募方法**
- 「京急電鉄IR」でウェブ検索するか、右記のQRコードを読み取り、京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
 - 応募ページに進んでいただき、必要事項を入力してご応募ください。
※株主番号は、同封の配当金計算書・領収証でご確認ください。

- ご注意**
- お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
 - 同伴者は株主の方でなくても結構です。
 - 集合時間・場所は当選された方にのみ別途お知らせいたします。
 - 参加費は無料ですが、集合・解散場所からの交通費はご負担いただきます。
 - 応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
 - 当選者の発表は当選メールの配信をもって代えさせていただきます。
 - ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。



京急電鉄 IR

会社情報

2023年3月31日現在

● 商号	京浜急行電鉄株式会社 (証券コード 9006)	● 設立	1898年2月25日(前身の大師電気鉄道)の設立 1948年6月1日(京浜急行電鉄)の設立
● 本社所在地	〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号		
● グループ会社	46社(当社を含む)	● 従業員数	8,630名(うち当社2,891名)

第102期定時株主総会決議ご通知

報告事項	<p>1. 第102期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件</p> <p>2. 第102期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件 上記1、2の内容を報告しました。</p>
決議事項	<p>第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認可決されました。当期の期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき金6円となりました。</p> <p>第2号議案 取締役9名選任の件 本件は、原案どおり承認可決されました。</p> <p>第3号議案 監査役1名選任の件 本件は、原案どおり承認可決されました。</p>

以上

役員 (2023年6月29日現在)

取締役	取締役会長 (代表取締役)	原田 一之	監査役	常勤監査役(社外)	原田 修
	取締役社長 (代表取締役)	川俣 幸宏		常勤監査役	浦辺 和夫
	社長執行役員			監査役(社外)	末綱 隆
	取締役専務執行役員	本多 利明		監査役(社外)	須藤 修
	取締役常務執行役員	櫻井 和秀	執行役員 (取締役非兼務)	執行役員	野村 正人
	取締役常務執行役員	金子 雄一		執行役員	杉山 勲
	取締役常務執行役員	竹谷 英樹		執行役員	竹内 明男
	取締役(社外)	寺島 剛紀		執行役員	坂齊 素彦
	取締役(社外)	柿崎 環		執行役員	青野 良生
	取締役(社外)	野原 佐和子			

お知らせ

期末配当金は、同封の「配当金領収証」により、お受け取りください。
なお、銀行口座等への振込みをご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。



※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。

